

本部長指示事項

○本日、国の新型コロナウイルス感染症対策本部長は、千葉県を含む19都道府県の緊急事態措置を実施すべき期間を9月30日（木）まで延長し、基本的対処方針を示した。本市における新規感染者の発表者数も、感染拡大状況はピークを過ぎたように見えるものの、引き続き多数の患者が発生しており、ステージⅣの状況であることは変わらない。

○本市において、本日（9月9日）現在、患者数は2,113名、うち自宅療養者は1,853名となっている。新規感染者の減少もあり、自宅療養者も減ってきているが、いまだ相当数いらっしゃることから、これらの方に対する医療提供体制の整備を進める必要がある。

○現在の自宅療養者への医療提供体制について、保健所は、看護師等からの電話などにより、毎日健康観察を行うとともに、自宅療養者が自身の健康状態を適正に把握できるよう、酸素飽和度を測定するパルスオキシメーターを貸与しているほか、生活支援として食材セットの提供を行っている。また、療養生活の不安を解消するため、本年2月から自宅療養者の専用相談窓口を設置したほか、精神的な悩みなどについては、心の相談窓口を設置して対応している。

医療の提供については、市医師会や市薬剤師会と協力して、電話診療やオンライン診療、処方薬剤の配達を行うなど、体制強化を進めているほか、9月7日から宿泊療養施設内に「酸素ステーション」を設置し、救急搬送を要請したものの、緊急性が低いと判断された自宅療養者で、そのまま自宅療養を続けることが困難と思われる方を一時的に受け入れて酸素投与を行い、その後の入院調整等につなげる仕組みの構築を図った。

また、自宅療養者が増加していることから、宿泊療養施設については、これまでのバーディーホテル千葉に加え、あらたな施設の増設について急ぎ検討を進めて欲しい。

更に、両市立病院については、コロナ病床を確保し、受入を行っている他、感染した妊婦やその出産児について、地域周産期母子医療センターの使命として、これまで海浜病院において多くを受け入れており、県内での出生児の死亡事例を受けて、今後も千葉大学医学部附属病院や青葉病院、地域のクリニックとの連携を行いながら、引き続き対応していく。

その他、訪問診療や訪問看護の取り組みもスタートさせており、今後は保健所が新規患者調査等を支障なく実施できるよう、外部委託により自宅療養者健康観察センターの設置を急ぐ等、引き続き自宅療養者への適切な支援体制の強化を進めて欲しい。

○各担当部署においては、それぞれ適切な対応をお願いします。

- ・市施設については、引き続き、20時以降の利用を停止することとする。各施設の感染防止対策と利用者への呼びかけを徹底してほしい。
- ・緊急事態宣言が再延長され、市内中小企業の厳しい経営環境が継続されるので、各種支援策の積極的な利用を促すよう周知を続けること。
- ・これまで人流抑制策として取り組んできた「ちば割テレワーク」の延長や、中小事業者の事業継続を支

援する更なる給付を検討すること。これに加えて、新型コロナウイルスワクチン接種の進展に合わせた行動制限の縮小も想定されることから、感染症対策を徹底し、県の認証を取得した飲食店は、まん延防止等重点措置区域下でも酒類の提供ができたり、提供時間の延長ができるようになっているため、早めの認証取得促進の広報を進めるとともに、新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金（事業者支援分）の活用を視野に、新たな経済対策の準備をすすめること。

- ・教育環境においては、夏季休業期間が終わり、短縮日課や時差登校などにより感染リスクの低減に努め学校を再開したところであるが、引き続き感染状況を見極めながら、必要な感染症対策を講じて教育活動に取り組んでいただきたい。
- ・なお、今後増えるであろう新型コロナウイルス感染症による学級等の閉鎖や、コロナ下で登校に不安を持つご家庭など、学校へ登校できない・しない児童生徒の学習保障のため、オンライン教育に関して一部の学校での先行事例を通じて課題を整理し、市内各学校へ共有を図るなど、着実に取り組みを進めること。

○ワクチン接種については、昨日（9月8日）時点で、本市の医療従事者等を含む全体の1回目の接種率は、54.46%、2回目の接種率は、42.89%であり、市民の皆様の概ね半数が1回目接種を終えている状況となっている。通常診療や発熱外来などにもご対応いただきながら、長期にわたりワクチン接種にご協力いただいている医療機関のみなさまをはじめ、ワクチン接種業務に携わっていただいている全ての皆様に改めて感謝を申し上げます。

○今月に入り、12歳以上の8割の方が2回接種できる量のワクチンが国から供給される見通しもたっていることから、供給量に見合った接種体制により、11月中下旬には接種を希望する方への2回接種が終了できると見込んでいる。しかしながら、いまだ予約が取れていない市民の方が一定数いらっしゃるため、接種を希望する方を一人も残さず接種できる体制を整えること。また、国からのワクチン供給は今後もあると考えられるので、国からの供給量が見えてきた段階で、適宜全体の接種計画を見直すこと。

○若者世代が他の世代に比べると接種率が低い傾向にはあるが、誤った情報に惑わされず、信頼のおける正しい情報に基づいて、ワクチン接種について判断いただき、私としては、積極的に接種を受けていただきたいと考えている。繰り返しになるが、ワクチン接種は、自身はもとより、周囲の家族、友人、同僚や、接種対象ではない子どもたちを守ることにつながり、新型コロナウイルス感染症の拡大防止にもつながる。また、2回のワクチン接種を終えた方も決して油断せず、ブレークスルー感染もあり得るため、引き続き、不要不急の外出自粛の徹底、基本的な感染対策の実践をお願いするとともに、市としても繰り返し広報してもらいたい。

○マスク、手洗い・消毒、換気、密の回避など、いかにそれを徹底するか、お一人おひとりの心構えが必要だ。また、とにかくちょっとでも体調が悪く感じたら、職場や学校を休み、医療機関を受診するようにお願いしたい。改めて感染防止策を徹底して欲しい。